

議会市民懇談会報告書

平成30年1月23日

山陽小野田市議会議長 小野 泰 様

産業建設常任委員長 中村博行

平成29年1月18日開催の議会市民懇談会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成30年1月18日（木） 19:00～20:30

2 開催場所

山陽商工会議所

3 申請団体等名称

厚狭駅前商店会

4 参加人数（市民）

6人

5 テーマ

厚狭駅周辺の活性化について

6 担当議員名

（伊場 勇）（宮本 政志）（吉永 美子）（矢田 松夫）
（中村 博行）（河崎 平男）

7 懇談会次第

- (1) 開会挨拶
- (2) 出席者紹介
- (3) テーマの趣旨説明
- (4) テーマの報告
- (5) 意見交換
- (6) 閉会挨拶

8 意見交換の主な内容

[総務文教常任委員会]

Q: 厚狭公民館跡地を有効活用できないか。

A: 跡地についての計画はないが、管財課は売却したい意向である。

Q: 塩漬けになっている土地は使用できないか。

A: 使用料を払えばできるのではないか。

[民生福祉常任委員会]

Q: 空き地、空き家対策について、今後どのようにしていくのか。

A: 議会として行政の考え等を聞き、議論していくことになる。

Q: コンパクトシティ構想は、コーポラティブ住宅誘導と保育所建設が条件となっているがどうするのか。

A: 先日の市民懇談会で県住とセットでつくと園長が言われたが、委員会の所管事務調査で調査中である。コンパクトシティ構想も検討中のことである。

[産業建設常任委員会]

Q: 厚狭豪雨災害で浸水した厚狭駅周辺や桜川周辺も治水対策により整備され、風評被害も払拭された。新幹線厚狭駅を活用したまちづくりはどうするのか。

A: 厚狭駅南口駐車場の料金改定をしたことにより、新幹線の利用者増を図ることやベッドタウンとして定住を促進する。また、厚狭駅、小野田駅、市民病院、サンパーク、理科大を幹線とした公共交通の整備、見直しが検討中である。

Q: 長門市への大手リゾート会社の進出による美祢線の活用と厚狭駅前商店との連携、インバウンド等への活用など、厚狭駅の乗降客増につながるような議論が総合計画の審査の中であったか。

A: 長門市に進出した大手リゾート会社についての議論はなかった。

Q: 厚狭公民館隣接の地下通路をなくすかどうかについてのアンケートが回って

きたが、どのようになっているか。

A: 県道に関わることなので不明である。

Q: 厚狭商店街では、電柱が通行の妨げになっているが、電線地中化の議論はあったか。

A: 総合計画の審査の際に議論はしたが、地中化の計画は持っていないとのことである。他の商店街でも同様の状況があり、進言していく。

[その他]

Q: 市民懇談会の出席議員がすべて山陽地域の議員なのはなぜか。

A: 出席議員は委員会で決定した。

○ 要望

[総務]

- ・ 厚狭公民館の跡地利用として、例えば山口東京理科大の先生たちの寮として有効活用してほしい。

[産建]

- ・ 駅の通路を無料にしたら利用者も増加するので、無料化を要望してほしい。
- ・ Wi-Fi を商店街に置くように行政に要望してほしい。
- ・ 跡地利用で道の駅を作ってはどうか。
- ・ まちの活性化をするには行政と地域のコンセプトの連携が必要であり、我々団体が持っている情報を活用することを望む。
- ・ 厚狭のまちづくりは、公でやるのではなく民間主導、活用が大事で「人材育成」や「新幹線と SL が止まる厚狭」「笑顔があふれるまち」などのまちづくりをしたらどうか。
- ・ これからは、イベント中心ではなく、本市をどのようにするか常任委員会で考えて、所管事務調査等で行政に提案要望してもらいたい。

○ 意見

- ・ 今ある資源をどう生かすかが重要である。埴生には花の海があり、厚狭には美祢線があり、古い厚狭の町並みをどう生かすか検討されている。長門の温泉とどう連携し、生かすか構想中である。それには美祢線が必要である。